

令和7年度 第29回四国ラージボール卓球大会 連絡事項

1. 選手等の変更・追加について

- (1) 団体戦の選手変更・追加は監督会議でのみ可能。
- (2) 個人戦ダブルスについてはやむを得ない事情がある場合のみ1名の変更を認める。
- (3) 男女ダブルスペアの1名のみ変更は、11/29（土）監督会議で審判長へ変更届けを提出する。また、混合ダブルスペアの1名のみ変更は、11/30（日）8時30分までに審判長へ変更届けを提出する。

2. 競技上の注意

- (1) 試合規則 現行の(公財)日本卓球協会制定のラージボール卓球競技大会ルールを適用する。
ただし、今回はダブルスのペア及び団体戦の服装（ユニフォーム）の組み合わせは、任意とし、異なっても認める。ゼッケンは必ず着用すること。また、2～3秒静止させるサービスも可とする。
- (2) 試合方法 団体戦・個人戦ともに、予選リーグの後、各リーグ1・2位により決勝トーナメントを実施する。3・4位トーナメントも、愛媛県の運営で実施をする。
- (3) 試合球 (公財)日本卓球協会公認球 44mm、ニッタクのラージ3スタークリーン、VICTASのVP44+3スターを用意し、各コートに置いておく。
- (4) 審判 団体戦・個人戦の審判は、予選リーグは相互審判または指定審判で行う。また、順位別トーナメントの初戦は、相互審判で行う。個人戦は原則、若番側から審判を出す。（同じ所属（県）等の選手に審判を依頼する。）それ以降の試合は敗者（チーム）審判とする。ただし、決勝1・2位トーナメントの準決勝からは開催県で審判を行う。
- (5) 団体戦 試合コートでオーダー交換し、開始する。（オーダー用紙を記録用紙に貼付し、審判が記録をする。）
予選リーグは勝敗に関係なく3番まで行い、3マッチ記録法で集計する。
決勝トーナメントは、2点先取とする。抗議権は監督のみにある。
- (6) 個人戦 個人戦のアドバイザーは1名とする。抗議権は競技者のみにある。

3. 進行上の注意

- (1) 試合進行 タイムテーブルに従って行うが、競技開始時間及びコートが変更になる場合がある。
- (2) 試合結果 団体戦は、勝チームが記録用紙に記入して進行席に提出する。
個人戦の予選リーグは、各リーグ責任者(可能なかぎり愛媛県選手が担当)がリーグ戦記録用紙に記入して、リーグ戦終了後に進行席へ報告する。
決勝トーナメント（1・2位、3・4位）は、勝者が試合結果を進行席に報告する。
- (3) ベンチ 番号の若い競技者（チーム）が、本部席に向かって左側とする。

4. その他

- (1) 監督会議 29日（土）8時15分～ 1階会議室
- (1) 開会式 29日（土）9時～（8時55分集合）団体戦の優勝杯の返還
- (2) 開始式 30日（日）9時～（8時55分集合）
- (3) 表彰 各種目とも決勝1・2位トーナメントのベスト4まで表彰がある。準備ができ次第行う。団体戦・男女ダブルスについては、30日の開始式で行う。
- (4) 練習 体育館開館・受付 7時50分～
練習時間 29日（土） 8時00分～8時50分
30日（日） 8時00分～8時50分
メインアリーナ 高知 1～7、徳島 8・11～16、香川 9～10・17～24・30～32
愛媛 25～29・（33～40（サブアリーナ））
※試合開始後、空き台での練習は不可。
※大会前日 28日（金）の練習可（15時00分～17時30分）
- (5) その他 ①ゴミは各自で持ち帰ること。 ②貴重品、シューズ等は各自で管理すること。